

としはる通信

2003.6

No.4

編集、発行
川村俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10
75-0928
E-Mail
t-kawamu@mv
d.biglobe.ne.jp



「あいさつ」

私はさる4月27日に行われた山北町議会議員選挙で、昨年7月の補欠選挙に引き続き、皆様方のご支持をいただいて当選させていただきました川村としはるでございます。紙面からではございますが、心より厚くお礼申し上げます。

第3回臨時会(5月)

5月8日に改選後初の臨時議会が開催されました。ここでは正副議長の選出、常任委員会の構成などの人事案件が処理されました。人事の詳細については6月1日発行の議会だよりに詳しく報告されておりますのでそちらをご覧ください。

第2回定例会(6月)

6月10、11両日平成15年第2回定例会が開催されました。一般質問の後の本会議では条例の改正7件、工事請負契約1件、動産購入1件および一般会計補正予算の議案が提案され、いずれも原案通り可決されました。

条例改正の主な内容

また、衆議院議長らに提出する「二位一体の改革」の早期実現を求める意見書も採択しました。

さて5月8日には改選後初の臨時議会が、そして6月10、11日には平成15年第2回定例会が開催されましたので、審議状況などをお知らせいたします。いずれ「議会だより」で詳しく報告されますが、速報という形でお知らせしてまいります。ご一読いただいで「意見などお寄せいただきますようお願い申し上げます。



川村としはる(俊治)

私、川村としはるは、議席は9番、常任委員会は引き続き建設経済常任委員会に所属しました。役場組織では産業建設部(産業観光課、都市整備課、上下水道課)が対象です。また議会だより編集委員会副委員長も務めることになりました。親しみやすい、読まれる議会だよりの編集に努めてまいります。

臨時議会ではこのほかに請負契約の変更1件と、専決処分5件の報告が行われ何れも承認されました。専決処分は町長が議会に代わって意思決定を行うことで、地方自治法の規定により「町長が議会を招集する暇がないと認めるとき」に多く運用されます。

町4役の平成15年度の期末手当を減額、町長20%、助役15%、収入役と教育長はそれぞれ10%減額となります。これによる経費削減額は二百三十二万円です。

ポランティアセンターを廃止する。昭和57年に設置されたポランティアセンターは当初の使命を終えたこと、健康福祉センターが建設されることにより廃止され、改装工事の後7月1日か

ら生きがい事業団の事務所として使用されます。消防団員の公務災害補償、および消防団員の退職報償金の支給に関して、政令が施行されるに伴って変更されました。災害補償は若干減額、退職報償金は若干増額となります。

工事請負契約の締結

林業構造改善事業林道熊山線改良工事請負契約
平成15年度工事としては、延長1177メートル、指名競争入札により株式会社松永組が落札しました。契約金額は七千六百六十五万円です。期は平成16年2月27日です。

動産の取得

消防ポンプ自動車購入契約
毎年消防車の更新を行っています。今年度は第4分団の消防車が入れ替えられます。指名競争入札で(有)田中モーターズが落札、契約金額は千四百五十四万二千五百円です。納期は平成15年9月30日です。

一般会計補正予算

今回の補正では歳入、歳出ともに六千九百四十八万一千円を追加し総額で五十九億三千六百四十五万三千円となりました。

歳入の主なものは図書館情報システム購入への国庫補助金六百二十六万五千円、山北駅南口交流・イベント広場整備事業に対する宝くじ助成金五千二百五十万円です。

歳出では図書館情報システムの購入で千二百五十三万円の増加となりましたが、当初7年間のリースを計画していましたが、今回の国庫補助金により買取に変更したため、トータルで債務負担二千百万円を節約しました。

観光振興事業として丹沢湖にわかさぎの放流、ダムにマンジュシヤゲの植栽などで二百九十五万円を計上しています。

そのほかに障害者デイサービスの充実、山北中学校に心の相談事業に代わってスクールカウンセラーを置くなど福祉の充実も図っています。

また、中川温泉ふなの湯運営では売店の売り上げが増加していることから管理委託料を二百万円減額しました。

「三位一体の改革」の

早期実現に関する意見書

現在「骨太の方針第2弾」に基づいて経済財政諮問会議で改革案のとりまとめが進んでいます。あくまでも地方分権の理念の実現を基本に捉

えて推進するよう求めています。具体的には国から地方への税源移譲を基軸に国庫補助負担金を廃止・縮減し、地方交付税については地方公共団体が標準的な行政水準を確保できるための財源保証は国の責務であるとの観点から、地方交付税制度を堅持する立場で三位一体改革を早期に実現するよう求めています。

この意見書は山北町議会議長名で、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済財政政策担当大臣宛に提出します。



炭酸カルシウム温泉に 健康福祉センターの人工温泉

山北駅南口に建設が進められている健康福祉センターの人工温泉設備は、トロン温泉として計画が進められてきましたが、人工温泉に対する衛生管理基準が新しくなったことにより、レジオネラ菌の発生を抑えることと、トロンの効果を両立させることが困難な状態になったことが判明しました。

このため、安全面、費用、効能を調査した結果、炭酸カルシウム温泉が適切であるとの結論に達し、変更されることになりました。

6月11日の全員協議会で町側から説明があったもので、説明によりますと、レジオネラ菌を死滅させるために塩素を使用しますが、塩素を入れると、現在の構造ではトロンの効能が失われるというものです。炭酸カルシウム温泉については、塩素を使用してもその効能が失われる事はありません。



議会のことが知りたい

議席番号はどう決まるの

6月1日発行の議会だよりの表紙には議場での議員が写っています。この議席はどのように決まるかご存知ですか。

議席は、改選後の会議の初めに議長が決めることになっていますが、初議会ではまだ議長が決まっていないうので、会議が始まる前の全員協議会の場で、まず、予備くじを引いて順番を決め、その順番に従ってくじを引きその番号を「仮議席」と決めます。会議が始まると、年長の議員が臨時議長として仮議席の指定と議長選出を行います。

選挙によって議長が選出されたあと、議長が「仮議席」を「本議席」にする決定を行います。山北町の場合は議長の議席は18とすることになっており、議長が仮議席の番号であったところと18番の議席の議員との議席変更を行い全議席が決定します。

私川村としはるは本くじで9番を引き当てたために議席9番と決定しました。